
建築物外装材の耐風設計と 耐風性能評価に関するシンポジウム

近年の強風被害をみると、殆どが屋根葺材を中心とした外装材に発生している。外装材の被害は単にそれだけに止まらず、大きな構造被害や飛来物となって人的被害を引き起こす可能性がある。荷重運営委員会風荷重小委員会では、近年の強風被害からの教訓、風力係数の調査・研究、種々外装材の耐風性能評価に関する比較、外装材に及ぼす飛来物の影響に関して検討を進めてきた。その成果を「建築物外装材の耐風設計と耐風性能評価」として取り纏め、2008年11月に東京で標記シンポジウムを開催したところ盛況であったため、研究成果の普及を図るために大阪においてシンポジウムを開催する。

<主催> 日本建築学会 構造委員会 荷重運営委員会 風荷重小委員会
<後援> 板硝子協会、合成高分子ルーフィング工業会、全国陶器瓦工業組合連合会、日本風工学会、日本金属屋根協会、日本建築構造技術者協会、日本鋼構造協会、日本サッシ協会、日本窯業外装材協会

日 時：2009年11月4日（水）13:00～17:00
会 場：建設交流会館（大阪市西区立売堀2-1-2）

<プログラム>

司会：谷池 義人（大阪市立大学） 記録：高森 浩治（日本建築総合試験所）

13:00～13:10	1. 主旨説明	河井 宏允（京都大学）
13:10～13:50	2. 近年の強風被害からの教訓	奥田 泰雄（建築研究所）
13:50～14:50	3. 外装材の風荷重	植松 康（東北大学） 谷口 徹郎（大阪市立大学）
14:50～15:10	休憩	
15:10～15:50	4. 外装材の耐風性能評価	西村 宏昭（日本建築総合試験所）
15:50～16:30	5. 外装材に及ぼす飛来物の影響	丸山 敬（京都大学）
16:30～16:50	6. 質疑応答	
16:50～17:00	7. まとめ	植松 康（東北大学）

定 員：150名（申込先着順）

参加費：会員4,000円 登録メンバー・後援団体会員4,500円 会員外5,000円 学生3,000円
（資料代含む・当日お支払いください）

申込方法：E-mail または Fax にて、催物名称、氏名、勤務先・所属、同電話番号、E-mail アドレスを明記して申し込んでください。定員に達した場合は、お断りの方にのみご連絡します。

申 込 先：日本建築学会事務局研究事業グループ 今井
E-mail: imai@aij.or.jp Fax: 03-3456-2058
